

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

・安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

・定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグまたはACパワーアダプターとコンセントとの間にほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

・故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源コードまたはACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずコードレスマイクロホンと赤外光レシーバー、充電器と一緒にお持ちください。

・万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら
 ①電源を切る
 ②電源プラグ、ACパワーアダプターをコンセントから抜く
 ③お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、感電や他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号
 火災 感電 行為を指示する記号
 プラグをコンセントから抜く
 行為を禁止する記号
 禁止 分解禁止 接触禁止

電池についての安全上の注意

この機器はニッケル水素充電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

△危険 指定された充電器以外で充電しない。
 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
 コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

△警告 下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外は、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



△注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや電源プラグ、充電器にさわらない

感電の原因となることがあります。



通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



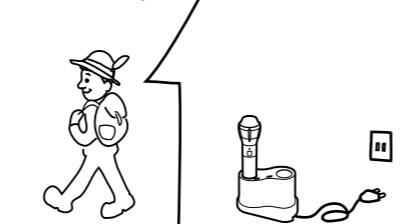
内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



移動させると、長時間使わないときは、電源プラグとACパワーアダプターを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



指定以外の充電器やACパワーアダプターを使わない

破裂・液もれや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

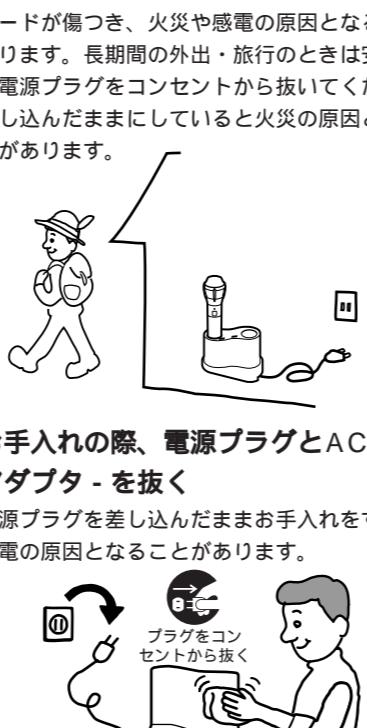
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



お手入れの際、電源プラグとACパワーアダプターを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグとACパワーアダプターを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



幼児の手の届かない場所に置く

けがの原因となることがあります。お子さまがわらぬようにご注意ください。



SONY®

コードレスマイクロホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとには、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IFM-V10RK

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

主な特長

- 外来ノイズ等の影響を受けにくい赤外光を利用した光伝送システム
- あらゆる角度から赤外光をキャッチできる赤外光リシーバー/赤外光センサー
- デュエット用に2本のコードレスマイクロホンが同時に使用可能
- 経済的な充電式コードレスマイクロホン

本機は赤外光を使用しているため、ご使用になる場所が、赤外光リシーバー/赤外光センサーから離れるに従って雑音(ヒスノイズ)が増えたり、また、赤外光がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外光の特性によるもので、故障ではありません。また、本機を屋外(直射日光下)では使わないでください。

主な仕様

一般仕様	周波数変調
変調方式	搬送周波数
MIC1 3.7MHz	MIC2 3.2MHz
到達範囲	約25m ²
音声信号出力レベル	±5dB 73dB(0dB=1V/Pa、1kHz)
周波数特性	80~15,000Hz
コードレスマイクロホンIFM-V10R	電源 DC2.4V ニッケル水素充電池(内臓)
電源	連続使用時間 約1時間
連続使用時間	約5.2x25.5mm(直径x長さ)
最大外形寸法	質量 370g
質量	赤外光リシーバー IFM-AR10
赤外光リシーバー IFM-AR10	電源 付属のACパワーアダプター(OUTPUT: DC9V、150mA)
電源	入力端子 F型コネクタ(2)
消費電力	出力コード 標準マイクロホンプラグ(2)付き平行コード(長さ:約3m)
標準充電時間	最大外形寸法 約160x42.5x170mm(幅x高さx奥行き)
最大外形寸法	質量 370g
質量	マイクロホンチャージャー BC-V10R
マイクロホンチャージャー BC-V10R	電源 AC100V50/60Hz
電源	消費電力 22VA
消費電力	標準充電時間 約5時間(急速充電方式)
標準充電時間	最大外形寸法 約86x143.5x186mm(幅x高さx奥行き)
最大外形寸法	質量 560g
質量	赤外光センサー AN-IF10(別売り)
赤外光センサー AN-IF10(別売り)	接続コード F型コネクタ付き同軸ケーブル(長さ:約7m)
接続コード	入力端子 F型コネクタ(1)
入力端子	最大外形寸法 約130x104x49mm(幅x高さx奥行き)
最大外形寸法	質量 240g
質量	ACパワーアダプター(1)
ACパワーアダプター(1)	保証書(1)
保証書(1)	取扱説明書(1)
取扱説明書(1)	ソニーサービス窓口のご案内(1)
ソニーサービス窓口のご案内(1)	別売りアクセサリー
別売りアクセサリー	赤外光センサー AN-IF10(2台1組)
赤外光センサー AN-IF10(2台1組)	マイクテーブルスタンド A-25
マイクテーブルスタンド A-25	マイクホルダー SAD-300F
マイクホルダー SAD-300F	マイクフロアスタンド B-500/B-500B
マイクフロアスタンド B-500/B-500B	マイクロホンミキサー MX-50
マイクロホンミキサー MX-50	延長用同軸ケーブル EAC-630
延長用同軸ケーブル EAC-630	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

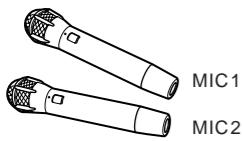
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

▶ 準備

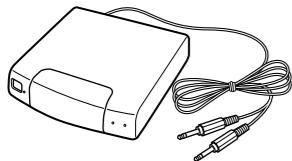
付属品を確認する

はじめに内容物の確認をしてください。

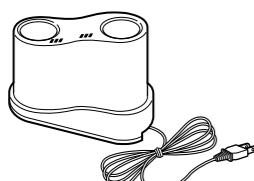
- ・ コ - ドレスマイクロホン(2)



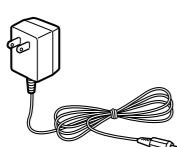
- ・ 赤外光レシーバー(1)



- ・ 充電器(1)

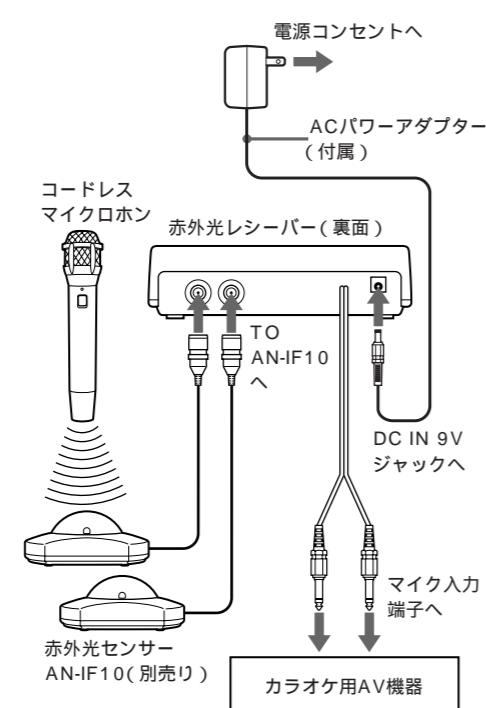


- ・ ACパワーアダプター(1)



- ・ 保証書(1)
- ・ 取扱説明書(1)
- ・ サービス窓口のご案内(1)

接続する



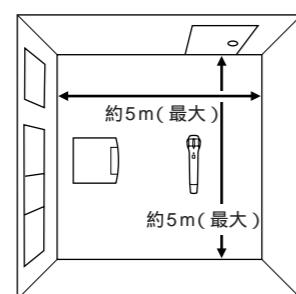
ご注意

この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

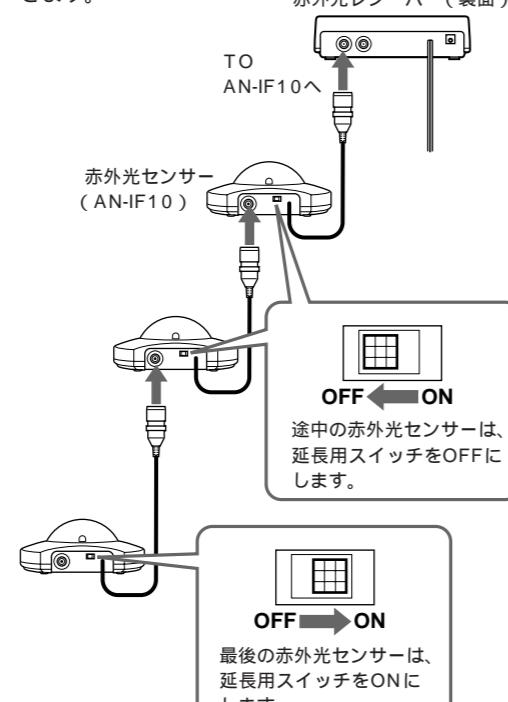


赤外光の届く範囲

コードレスマイクロホンの向きや位置にかかわらず、部屋全体を受光可能範囲にするには、図に示された広さの部屋でご使用ください。



別売りの赤外光センサーを接続する
より広い範囲でコードレスマイクロホンを使うには、別売りの赤外光センサーAN-IF10(2台1組)をお使いください。赤外光センサーは、直列で最大3個(両方のTO AN-IF10端子を使えば合計6個)まで赤外光レシーバーにつなぐことができます。
10m²広がることに1個増設すると効果的に受光できます。



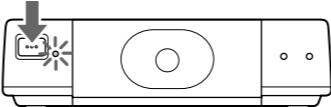
ご注意

- ・ 壁や不透明なガラスなどは、赤外光を通しません。コードレスマイクロホンは、必ず赤外光レシーバーが直接見渡せる位置からご使用ください。
- ・ 本システムは、直接光だけではなく壁からの反射光も効果的に利用できます。赤外光レシーバーを移動させてみて、よりよい状態になる位置に設定してください。
- ・ 赤外光レシーバーは、熱器具などの上に置かないでください。

▶ 使いかた

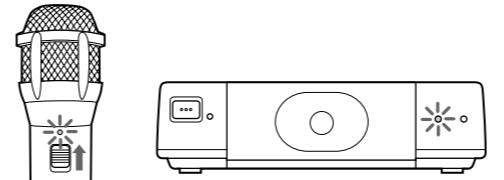
マイクを使う

- 1 接続したカラオケ用AV機器の電源を入れる。
- 2 赤外光レシーバーの電源を入れる。POWER(電源)ランプが点灯します。



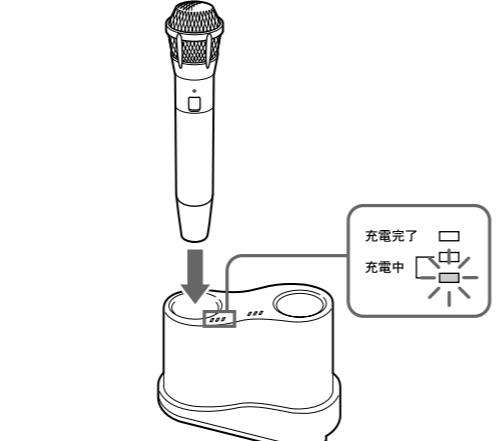
- 3 コードレスマイクロホンのPOWER(電源)スイッチをONにする。

コードレスマイクロホンのPOWER(電源)ランプが点灯してから、赤外光レシーバーのOPERATION(動作)ランプが点灯します。



ご注意

- ・ コードレスマイクロホンを1本でご使用のとき、赤外光レシーバーから50cm以内に近づくと、雑音が入ることがあります。
- ・ コードレスマイクロホンの発光部や赤外光レシーバー/赤外光センサーの受光部を手でおおったり、また表面が汚れていると受光不良の原因になります。表面が汚れた場合は、柔らかい布でから拭きしてください。
- ・ お使いにならないときは、コードレスマイクロホンのPOWER(電源)スイッチをOFFにしてください。
- ・ 電池が消耗してくると、コードレスマイクロホンのPOWER(電源)ランプが暗くなり雑音が多くなってきます。このようなときは充電してください。



点灯するランプ	点灯する時期	使用可能時間
充電中(赤)	コードレスマイク ロホンを立てると 点灯	
充電中(黄)	約3時間後に点灯	約6時間
充電完了(緑)	約5時間後に 点灯	約11時間

ご注意

- ・ 買い上げ時、コ - ドレスマイクロホンの内蔵充電池は充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。1回目の充電のあと使用可能時間が短いことがありますので故障ではありません。充電池は充電および放電を2、3回くりかえしたあと本来の特性が得られます。
- ・ 充電中、コードレスマイクロホンおよび充電器があたたかになりますが、故障ではありません。
- ・ 使用可能時間が極端に短くなったら、内蔵充電池を使いつづからもう一度充電しなおしてください。
- ・ 内蔵のニッケル水素充電池の寿命は約1年、500回の充電が目安ですが、使用条件により大きく変わることがあります。寿命になると使用時間が極端に短くなります。この場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ・ 充電器のマイク立ての中には、液体、金属片などの異物を入れないでください。故障の原因になります。
- ・ マイクロホンの充電端子が汚れていると、正常に充電されない場合があります。充電端子が汚れた場合には、乾いた柔らかい布でよくふいてからお使いください。

▶ その他

使用上のご注意

取り扱いについて
落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような場所では使わないでください

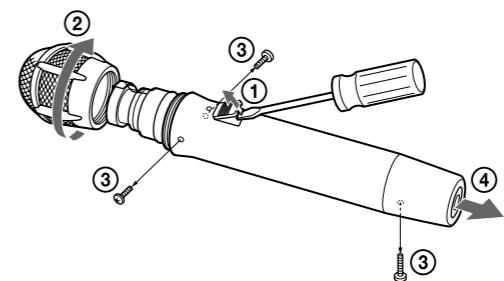
- ・ 屋外(直射日光下)
- ・ 太陽光やスポットライトなどの強い光がある場所(スポットライトを消したり、窓のカーテンやブラインドを開めるなど)。
- ・ ほこりの多いところ。
- ・ ぐらついた台の上や傾いたところ。
- ・ 振動の多いところ。
- ・ 直射日光があるところや暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ(なるべく5~35の範囲でご使用ください)。
- ・ 風呂場など、湿気の多いところ

本機を廃棄するときは

環境保護のため、下記の方法で内蔵充電池を取りはずし、適宜処理してください。

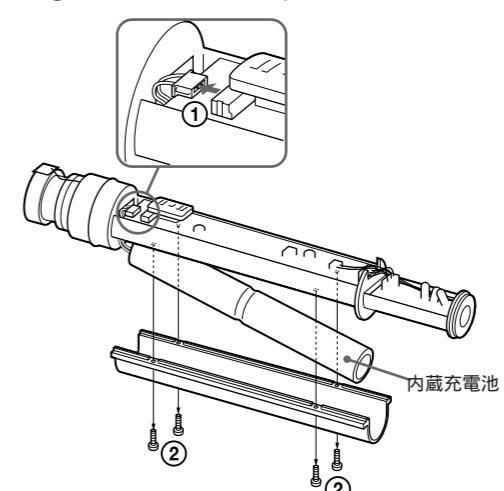
1 本体を分解する。

- ① ドライバーの先などでスイッチつまみをはずす。
- ② 頭部を強くねじってはずす。
- ③ 3箇所のビスをはずす。
- ④ グリップをはずす。



2 内蔵充電池をはずす。

- ① コードをひっぱり、ソケットをはずす。
- ② 4箇所のビスをはずす。



故障とお考えになる前に

OPERATION(動作表示)ランプが点灯しない

- コードレスマイクロホンおよび赤外光レシーバーの電源を入れる。
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 接続した機器の電源を入れる。
- 赤外光レシーバー、および別売りの赤外光センサーの接続を確認する。

音が出ない

- コードレスマイクロホンおよび赤外光レシーバーの電源を入れる。
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 接続した機器の電源を入れる。
- 赤外光レシーバー、および別売りの赤外光センサーの接続を確認する。
- 接続した機器のマイク入力音量を上げる。
- 接続した機器とスピーカーまたはヘッドホンを接続する。

スピーカーから「ピーッ」と音がする。

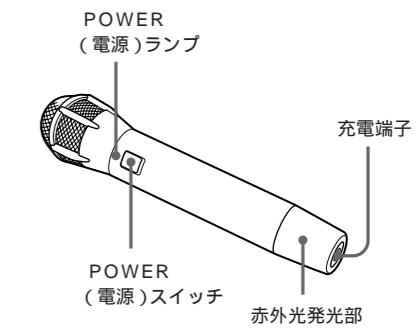
- コードレスマイクロホンとスピーカーを離すか向きを変えて使う。
- 接続した機器の音量を下げる。

雑音が多い、音がひずむ

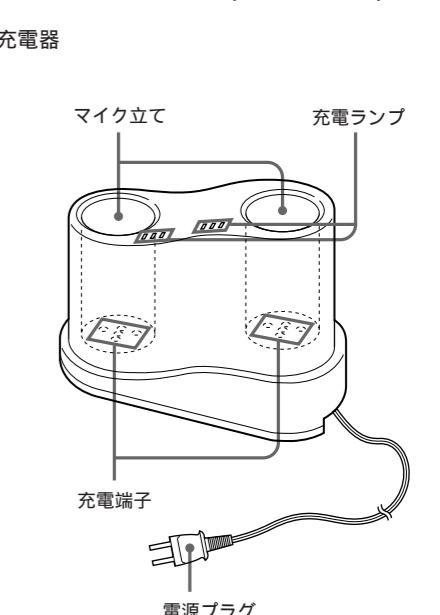
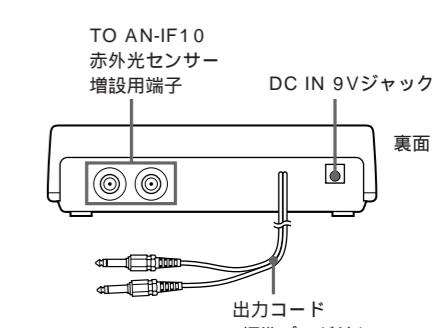
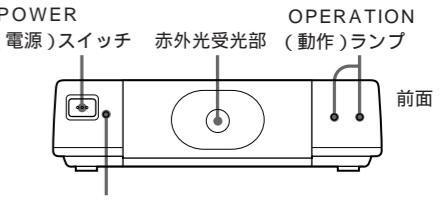
- コードレスマイクロホンを充電する。
- 赤外光レシーバーとコードレスマイクロホンの間にある障害物を取り除く。
- 赤外光レシーバー/赤外光センサーの近くでコードレスマイクロホンを使う。
- 赤外光レシーバー/赤外光センサーの位置・角度を変える。
- コードレスマイクロホンの赤外光発光部を手などでおわない。
- コードレスマイクロホンの赤外光発光部の汚れをふき取る。

各部のなまえ

コードレスマイクロホン



赤外光レシーバー



赤外光センサー(別売り)

